

教科名	地歴公民	科目名	歴史総合	学年	1年	単位数	2
教科書	歴史総合 わたしたちの歴史		副教材	歴史総合 わたしたちの歴史(日本から世界へ)			

1 科目の目標

- ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、広い視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身につける。
- ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握して考察、構想したことを効果的に説明したり、議論する力を養う。
- ・近現代の歴史の諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

2 学習について

① 予習・復習の方法

予習：本文を読み、不明な語句の意味調べなどを行う。

復習：授業を通して、理解できたこと、分からなかったところを確認する。

② 授業における学習方法

授業は常に積極的に理解に努める姿勢で向かい、自ら思考する努力をする。ノートは復習しやすい取り方を念頭に置いて書く。

③ 家庭学習のポイント等

授業前に予想される教科書の2ページ程度を読んでおく。宿題は出された当日に必ず自分の力でやる。

3 学習計画

考査		単元名(学習項目)	学習内容(ねらい)
前期	前期 中間	歴史の舞台 近代化と私たち①	・歴史の舞台となった各地の自然と歴史的背景について学ぶ。 ・近代の生まれた歴史的背景をふまえて理解する。
	前期 期末	近代化と私たち② 国際秩序の変化や大衆化 と私たち①	・近代化のもたらした影響と課題を理解する。 ・第一次世界大戦とその後にもたらされた社会の変化と課題をまとめ何が社会を変えていく推進力となったかを考え、探究する。
	後期	後期 中間	国際秩序の変化や大衆化 と私たち② グローバル化と私たち①
学年 末		グローバル化と私たち② 私たちにつながる課題	・冷戦終結後に急拡大したグローバル化の功罪を考察する。 ・これまでの対立と協調を通して、今後の人類はどのように歩いていくべきかSDGsの観点から考察する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代の世界と日本の歴史を広い視野で捉え理解し諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	近現代の歴史の変化の意味や特色などを多面的・多角的に考察し、課題を把握し、考察したことを効果的に説明したり、議論したりできる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

5 評価方法

計70時間(50分授業)

上記の観点を踏まえ、定期考査等各種テストの成績、単元課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…50% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…20%

